

【ヒアリング審査評価基準表】

・書類に基づいたプレゼンテーション及びヒアリングを実施し、最優秀者及び次点者各1者を選定する。

評価項目		評価の視点	指 標	委員一人あたりの配点
大項目	中項目			
1	設計担当者の経験と能力	<ul style="list-style-type: none"> ・実務経験年数、保有資格等 ・代表作品、公共施設の設計実績 	様式4 様式5	5点
	代表作品の設計実績	<ul style="list-style-type: none"> ・地域性（施設が地域に好影響を与えているか等） ・独創性（環境や敷地の特性を十分に捉え、工学的知見に基づく独創的な設計がされているか等） ・建築に対する基本姿勢及びマネジメント能力 	様式9 代表作品の説明資料 ヒアリング内容	25点
2	本業務の実施方針	<ul style="list-style-type: none"> ・設計チームの特徴（協力体制・業務分担体制等） ・業務への取組体制、特に重視する設計上の配慮事項等の妥当性 ・業務内容、業務背景、手続の理解度 	様式6 様式7 ヒアリング内容	15点
3	本施設整備に対する考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の現状と課題を踏まえた内容であるか ・独創性かつ実現性への思いがあるか ・検討する機能等に関して十分に考慮されているか ・施設目標に寄与する内容となっているか 	様式8 ヒアリング内容	45点
4	取組意欲	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に取組む姿勢 	ヒアリング内容	5点
5	見積内容	<ul style="list-style-type: none"> ・他者の見積金額との比較 	見積書	5点
合 計				100点